

長ハ餘リ荒立タル解決ハレタクナイトノ憂留ヲ持テ居タ  
様ヲアワタカ本社ノ寺尾 竹重 課長ト會見シタ際ハ資  
本家的イニチキ、回答ヲアワタ當時會社ニ品川線ノ重大問  
題カアワタ關係上先方テ共シニ忙殺サレテ比較的延ハサ  
レタ感カアワタ第三回ノ會見テ漸ク品川線ノ問題解決シ  
タ為メ充分ニ憂ホ出来タ會社ハ調査課カ非常ニ強硬テ  
アワテ其ノ結果五日賞罰委員會ヲ管野君ノ云フタ様ニ決  
定シタ 竹重課長ノ強要ナル点ハ憂當時ヨリ多大心當  
リカアワタカ寺尾課長ノ態度ハ全クインチキテアワタ  
曩ニ事故解決サレタ大竹正ト小澤傳ノ両採用試験ノイシ  
チキ振リヲ暴露シ會社ニ於テハ事故ノ場合年賞金ヲ取ル  
コトカ原則ナルニ大竹君ハ之レヲ取ラナカワタ 之ハ竹  
重課長カ為守中ノ事テアワタ為メト信スル 今回ノ様ニ  
既ニ出来タ問題ハ慎重ナル態度ヲ望ムレタキ事ハ先日モ

申述ハタ通りテアル 前田様専主任ノ如ク組合ヲ侮辱  
シタ事ニ依ラテ起タタ問題ハ此ノ終ニハ出来ナイ 本入  
ハ曾テ札ノ通ノ品川支部カラ全員ノ排斥ヲ受ケテ新宿ニ  
轉勤サレタモノテアル 十八日ノ事件ハ数日前ニ前田君ト  
オ互ニ紳士的ニヤルコトヲ話合フタニモ拘ラヌ問題ヲ起  
シタ 前田君カ警署ニ出シタ告訴状ノ内容ト本社ニ報告  
シタ内容ノ相異アルコトヲ寺尾重役ニ追究シタカ判然ト  
答カ出来ナカワタ 寺尾重役ハ一ツノ會社ニ多クノ組合  
ヲ必要トセヌカラ一ツニナフテハドウカト常ニ主張シテ  
居ルカ 恐ララハ現業員會カ甚クナワタラ御用組合タル  
中正會ノ團結ヲ認メナイテアロウ 彼ハ大友米合在任  
當時ニ毎度愛々演説會ノ聴衆トナワタ事カ判明後ハ裁  
首シメト云フ程ノ前座ヲ持テ居ル 以上ノ様ヲ譯テア  
ル 尚正副支部長カ解任ノ通知ヲ受ケ米務出来タワタ